

# 語学学習に特化した オンライン授業相談会

---

東京大学

大学総合教育研究センター

栗田 佳代子

吉田 壘

オンライン授業・Web会議  
ポータルサイト（日々更新中）

<https://utelecon.github.io/>

2020年3月27日

- Slido
  - リアルタイムに学生が質問できる Web サービス
  - 教員から学生に質問をすることも可能
- 学生の使い方
  - <https://sli.do> へアクセスして ID を入力して部屋に入る
- 教員の使い方
  - アカウントを作成する（無料アカウントあり）
  - 質問部屋を作成し、ID をメモしておく
  - ID を伝え、適宜質問に答える / 質問を投稿する

# 画面に英文をうつす方法

画面に英文を写す方法で初歩的なもののやり方を実際にやって見せてほしい

- 基本は「画面共有」機能
  - 共有できるもの
    - PCの画面全体
    - アプリケーションウィンドウ（パワーポイントなど）
- 別デバイスからも入って、その「画面共有」も必要なもの
  - iPad+ApplePen, 適したアプリ
- 機材があれば、「カメラ映像そのまま」でも可能必要なもの
  - PC, 黒板・ホワイトボード
  - 高性能マイク, 程よい高さの机, ズーム機能付きカメラ

# 学生とのコミュニケーション

画面に英文を写す方法、学生に呼びかける方法で初歩的なもののやり方を実際にやって見せてほしい

(全員が反応)

- ボディランゲージ (手で◎をつくる)
- 反応 (拍手, Thumbs up)
- 投票

(一部の人が反応)

- チャット
- 挙手
- 学生をあてる (名前を呼びミュートをはずす) →学生発表→直接フィードバック

# グループワーク中の学生に教員が口を出す

グループワークをさせているとき、それを教員側がモニターして、「口を出す」やりかたを実際にやってほしい

- Zoom ブレイクアウトセッション
  - 教員が自動あるいは手動で小グループをつくる
  - 教員はモニターできない（小グループは「別室」）
  - そのグループに「参加」することで、ようやく中で何が話されているかがわかる
  - グループに教員が用意したGoogle Sheetなどに書き込んでもらうようにすると各グループの進捗把握がこっそり可能
- Google ハングアウトMeetだと複数部屋を開けて実現可能

# 課題の頻度

語学学習という点で、どのくらいの頻度で、どのような形式での課題（小テスト）なら適当な量でしょうか。

- その日に学んでほしいことが確認できる程度の量
- 考え方として対面型のとくとそんなに変わらない
- 負荷の軽い順に、多肢選択問題、掲示板でのディスカッション、レポート課題

# TAの活用法について

---

TAはどこを勤務地とするのでしょうか。いくつか考えられると思うので教えてください。

- 技術的な観点からいうと、自宅からでも可能です（ITC-LMS は教員が TA に権限を与えられます）
- Zoomであれば、共同ホスト、ホストになることで、ほとんどの操作をTAが遠隔から行うことが可能です（遠隔操作をすることが可能であるため、教員がZoom に入っていれば、操作の補助もできます）

# TAの活用法について

---

学生が接続できずに困っているという申し出があったとき、教員が授業をストップせずに TA が対応する方法はあるでしょうか？

→ Google スプレッドシートや Word Online など、共同編集できるファイルを用意しておいて、そこで問題解決を図る

# 有用なサイトの紹介 (2020.03.27)

(後で資料として出していただけるとすれば) 語学のonline授業に関する有益なサイトなどがあれば教えてください。(ex. ワシントン大学のものなど。日本語で書かれたものがあれば教えてください。)

- <https://www.actfl.org/news/all/resources-response-covid-19> American Council on the Teaching of Foreign Language
- <https://cle.indiana.edu/news-and-events/covid.html> Center for Language Excellence, Indiana University